

【平成23年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第六小学校

【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字を学ぶことや、読書を好む。 ・ 自分の考えを発表する児童に限られ、順序立てて話すことや、場に応じた適切な話し方に課題が見られる。 ・ 集中して話を聞くことに課題が見られる。 ・ 物語文では、人物の気持ちを読み取ることはできるが、説明などの読み取りや、語彙力に課題がある児童が見られる。 ・ 主語、述語、修飾語やこそあど言葉や仮名遣い等の言葉のきまりについての正しい理解と活用の定着に課題が見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞くこと、読むことへの集中のさせ方 ・ 自分の考えを表現させること 個人差に応じた指導のあり方 ・ 漢字や表記や言葉のきまりの習得のさせ方 ・ 伝え合い・学び合いに適したグループ学習のあり方
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読、漢字練習は毎日の学習として習慣づける。 ・ 言葉のきまりについて習得するためにきめ細かな指導をする。 ・ 一人一人の考えを発表する場を多くつくる。(二人で、グループで、全体で) ・ 日常的に上手な聞き方、話し方の指導をする。読み聞かせや聞き取りテストを取り入れる。 ・ 他教科との関連も図り、体験的な学習を通し、日常的に文章を書く習慣を付けさせる。 ・ おはなしやさん(保護者ボランティアによる読み聞かせ)や、朝読書、読書週間などの取り組みをとおして読書活動を継続的に行うようにする。

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地図の見方、地図記号などの学習に意欲をもって取り組んでいる。体験的な学習を好む。 2. 歴史には興味をもっている児童が多く、人物なども良く覚えている。意欲をもって取り組んでいる。 3. 資料を読み取る力を付ける必要がある。資料から分かる事実のほかに、社会的な背景や歴史的な背景などに触れながらの読み取りが不十分である。
<p>■指導についての課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体験的な学習を積極的に取り組んでいく方法。 2. 児童たちへの資料の指示の仕方や活用のさせ方。 3. 大切な出来事や、社会的な背景や流れをふまえたうえでの指導方法。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会資源の直接的な見学のほかに、補助教材としてDVD、インターネット、パンフレットなどを活用する。 2. 事実だけを学ばせるのではなく、ものごとの予測や理由を考えさせる授業を目指す。 3. 新聞を書いたり、クイズを解いたり、児童一人一人が興味をもてるような教材の工夫。

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算については、低学年は、正しく理解できるが、学年が上がるにつれて、個人差が目立ち定着が難しい。 ・文章題での式の立て方及び、その考え方を説明する表現力に課題が見られる。 ・前の学年までの学習内容が定着していないなど個人差が大きい。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数、式、図、表、グラフなどを活用した思考力・表現力の育成並びに学習活動を工夫する。 ・学習内容の習熟や個別指導のための時間を確保する。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算は、繰り返しの学習で定着を図るが、併せて、朝学習や毎日の家庭学習の積み重ねも大切にし、声掛けやその結果を認め励ます。 ・自分の考えを、図や言葉で記述させる指導を、多くの場面で取り入れ、算数的活動を生かした指導を充実させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・解決方法は、自力解決を基本とし、ペアやグループ、全体での発表、検討を行い、聴き合い・学び合う指導を位置付ける。 ・算数少人数指導教諭を中心とし、系統性、連続性を配慮した指導を行う。 ・算数少人数担当教諭と担任との連携により、個別支援計画を作成し、学習指導講師による個に応じた指導を充実する。
--	--

【理科】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や周囲の環境に対する興味がある。 ・観察したことを記録したり表現したりすることを好む。 ・実験そのものには意欲的に取り組むが、目的把握から、予想、実験方法の選択、データの記録、結果の考察までの一連の学習に課題が見られる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をどうしたら高めていくことができるか。 ・自分で探究していく力、自分で考察する力がどうしたら向上するのか。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な体験や自然体験を充実させ、写真、ビデオなど、視聴覚教材を意識的に活用する。 ・実験、観察を積極的に行うことで、仮説→実験→考察といった学習の流れを身に付けることができるようにする。 ・個で考える場面、グループで考える場面を効果的に取り入れる。

【生活】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の自然に触れ、花や木の実などから四季を感じている。 ・公園探検・町探検に喜んで参加し、自然に親しんだり友達とかかわりあったり楽しそうに活動していた。 ・1、2年生でなかよし班を編成し、学校探検の交流学习では、仲よく楽しそうに活動する様子が見られた。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相互のかかわりを豊かにするため、よりよいかかわりができるような活動を工夫することが課題である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・観察カードで、自分の気付いたことや思ったことなど、表現力豊かに書ける子とそうでない子の差に応じた指導の工夫。 ・町探検では、児童の興味や関心に応じて、いろいろな場所に行かせたいと思うが、児童の安全を考えると、教員だけでは対応しきれない面もある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし班や学年合同の活動を充実させる。 ・カードに書く内容の例を示し、書き方について具体的に指導する。 ・保護者の協力をお願いして、グループ別を実施してみたい。

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動し、楽しみながら演奏している。音を間違えないように演奏することに努力できているが、演奏表現について考えながら演奏することがまだ十分でない。(低中学年) ・元気よく歌ったり、リズム遊びができる。鍵盤ハーモニカやリコーダーのタンギングや運指などの基礎知識や技能の習得に個人差がある。(全学年) ・曲に魅力を感じたら、意欲的に歌う。少し音が難しいような歌には意欲もてないなど、曲の好き嫌いがはっきりしてくる。男子では変声期になっていて、歌い方にとまどっている児童がいる。(高学年)
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現をしたり、リズム打ちをしたりして、音の長さの基本を身に付ける活動の充実が課題。 ・楽器の演奏では、指使いが思い通りにできない児童が見られ、個人差が出てきている。苦手な児童に対する指導の充実が課題。 ・曲想を感じ取って鑑賞したり、歌ったりする活動に意欲的に取り組むことができるようにすることが課題。 ・歌唱活動では、自分の音や伴奏の音を聴きながら歌うことができずに、なかなか音が覚えられずにいる児童に対しての丁寧な音指導が課題。(中学年以上)
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現を取り入れ、楽しみながら基礎のリズムや読譜ができるようにする。(低中学年) ・楽譜を見て演奏することに抵抗のないように、日常的に短い読譜にチャレンジする。(中学年以上) ・楽器の練習では個別指導の充実を図り、練習してできるようになる喜びや、ほかの人と合わせることの楽しさを味わわせる。(全学年)

	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞活動とリズム表現を織り交ぜながら、よりよい表現への目標をもてるように継続的な学習を進める。
--	--

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描いたり、工作したりも楽しく活動している。 ・好んで活動し、意欲的である。 ・表したいことを見つけ、表現しようとする。 ・友だちの作品の良さを見つけ、認めることができる。 ・形や色から連想して作品をつくっていくことができる。 ・細かい部分の色塗りやのり付け等が雑になってしまう児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物の形をとらえて描いたり、作ったりすることが苦手な児童への指導。 ・表現方法が分からず、友達の実似をしてしまう児童への指導。 ・自分の表現に自信をもつことができない児童への指導。 ・根気のいる作業を続けることを苦手とする児童への指導。 ・材料や用具の基本的な使い方に関心をもち、その扱い方に慣れさせる指導。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・良くできた作品を示し、良い発想を引き出す手立てをする。 ・技術を伝えながら、表現の幅を広げる手立てをする。 ・題材を工夫し、進んで取り組むことができる手立てをする。 ・さまざまな作品に触れる機会を持ち、自分なりの表現に自信をもって取り組むことができるようはたらきかける。 ・ひとつの題材の制作過程において、作業に変化をもたせることで意欲を持続させるよう工夫する。 ・体験を通して感じたことを表現する活動を取り入れたり、他教科との関連を図ったりしながら学習内容を工夫する。 ・楽しい造形活動の中で材料や用具の基本的な扱い方を身に付けさせる。

【家庭】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身で生活を担うという実感や経験に少ない。 ・家庭の生活や仕事に関心はあるが、基本的な知識は断片的な理解にとどまっており、実生活に生かされてない。 ・針や糸を使ったことがない、ガスコンロの点火や包丁の扱いを躊躇
---------------	--

	<p>するなど身の回りの準備や片づけに時間がかかり、経験や体験不足の児童がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な技能の個人差が大きい。 ・ 生活のための技能というよりは、ものを作る楽しさという面で調理したり、布でものを作ったりといった実習を好み、意欲的に取り組む児童がいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理やもの作りなど実習への興味・関心をさらに伸ばすとともに、作業の進め方や道具の使い方、食生活や住まい方についての基礎的な理解を深め、必要な技能を身に付けさせることが課題である。 ・ 「してもらう自分」から「できる自分」へ、といった自分自身で生活を担うという意識を育てていく必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習や針や糸を使ったもの作りの題材を工夫する。また、基礎的・基本的な学習内容の定着を重視した年間指導計画を立てて進める。 ・ 綿密な学習の計画を立てたり、実習の準備を支援したりと、学習が円滑に進められるように配慮する。 ・ 見て分かるような学習資料を用意したり、個々の学習計画表などのワークシートを工夫したりして、一人一人がめあてを明確にして学習できるようにする。
■その他 (補充・発展指導計画等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術面などで作業に時間がかかり、予定の時間で終了しない児童については休み時間や放課後など個別指導の時間を取る。 ・ 家庭と協力して、学習したことを家庭でも実践するよう働きかける。 ・ 学年と協力し、学校環境を生かして(みそ作りやジャム作りなど)総合的な学習と連携した食育教育の機会をもつようする。

【体育】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かす活動を好む児童は多く、授業への取り組みは意欲的であるが、運動種目に対する好き嫌いが取り組み態度に大きく影響を及ぼしている。 ・ 運動能力・体力、運動体験の個人差が非常に大きく、個人的にも得意な運動、そうでない運動に対する取り組み方に大きな差がある。 ・ 体力テストでは全般的に都や区との比較において低い傾向がある。特に、投力、持久力・耐性力の弱さは目立っている。
--------	--

<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守らない、友だちに攻撃的に関わってしまうなどの実態があり、児童相互のよい友達関係を築き上げつつ指導を行う必要がある。 ・体力面での課題を改善するために児童の発達の段階を考慮し、さらに積極的・計画的に取り組む必要がある。 ・苦手意識が強かったり、運動そのものを嫌がったりする児童に対する支援の仕方など、個人差への対応が必要である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活での外遊びを励行し、様々な遊具を使いながら多種多様な動きを身につけられるようにする。 ・毎日の50m走の取り組みに対して教職員の共通理解を図り、体力の向上に全校一致で取り組む。 ・発達段階を考慮した友だち関係の構築に努め、低学年では一緒に、中学年では励まし合い、高学年では高め合いといった関わり合い、学び合いを含めた授業づくりを行う。 ・運動の特性を踏まえ、個人差への対応を含めた体育指導の研修の機会を作り、授業力の向上に努める。 ・学習カードなどを工夫し、個人のめあてを明確にもてるよう工夫し、目標を達成する喜びを味わわせる中で自己肯定感を高める。 ・児童の体力の実態については体力テストを実施し、より具体的な数値で児童の実態を把握し、体力向上に向けた取り組み方を工夫できるようにする。

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高六の自然環境を中心にして学習を進めているので、興味・関心をもって、楽しみながら取り組んでいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題には一生懸命に取り組むが、自ら課題を見つけて取り組むのは難しく、受け身になりがちである。 ・調べ学習に必要な資料の収集が必要である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の思いを大切に意欲的に取り組めるような課題をもたせる。 ・「計画を立てる」段階を重視して、活動に見通しをもたせるようにする。 ・調べ学習に必要な資料は、区の図書館を利用して学年またはクラ

	<p>ス単位で50冊または100冊単位で本を借りる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてわかったこと、実践したことをもとに、発展した授業を工夫する。
--	---

【外国語活動】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語、外国文化についての興味関心が高い。 ・コミュニケーションを楽しみながら、活動に取り組んでいる。 ・みんなとよく声を出しているが、年齢が上がるとともに会話を楽しみながら活動することに消極的になってしまう場合がある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年から高学年に向けて、系統性をもった授業計画を立て、ALTと担任とが協力・連携し合い、授業を進める。 ・楽しみながら外国語に親しませるための工夫。 ・年間指導計画の見直し、指導記録等の引き継ぎを行う。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTと児童とを繋ぐ役割を担任が担い、授業を円滑に進められるようにする。 ・英語ノート(PC版も含む)、フラッシュカードの活用により、楽しみながら単語や会話に親しめるようにする。 ・各学年の指導内容に合わせ、使用する教材や掲示物を作り、学校全体で共有していく。

○言語活動の充実

・「聴き合い学び合う授業の創造」をテーマに、校内研究に取り組んでいる。

・「聴く」ことをの5段階を大切に指導する。

- ① 聴く態度
- ② 発言の客観的理解
- ③ 話し手に寄り添う聴き方
- ④ 発言の文脈に即した理解
- ⑤ 自分の考えと批判的に結びつける聴き方

・多様な学習形態で聴き合いの場を保障する。

- ① 他者の考え方を参考に、自分の考え方を見つめ直す場
- ② 友達との違いを説明する場
- ③ 意見を分類する場
- ④ 自分の意見を明確にする場
- ⑤ それぞれの意見のよさを振り返る場

・ペアやグループでの学習活動を積極的に取り入れる。

・学習のねらいや内容に応じて、学習形態を工夫する。(コの字型、グループ等)